



A群溶血性レンサ球菌咽頭炎に注意が必要です



県内の患者数

Table showing patient counts for various diseases like インフルエンザ, RSウイルス感染症, 咽頭結膜熱, etc., comparing this week and last week.

Reported many infections: 感染性胃腸炎, A群溶血性レンサ球菌咽頭炎, 手足口病

Large outbreaks or continuing in some areas: A群溶血性レンサ球菌咽頭炎, 感染性胃腸炎, 手足口病

◆◆◆保健所別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)◆◆◆

Table showing occurrence status by health center for various diseases including インフルエンザ, RSウイルス感染症, etc.

◆◆◆年齢別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)◆◆◆

Large table showing occurrence status by age group for various diseases across different categories.

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎に注意が必要です

今週のA群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告数は、229件で、前週に一旦減少した報告数が、今週、再び増加しました。保健所別では、菊池が警報レベルで、熊本の定点あたりの報告数が多くなっています。春から夏、及び冬の2つの時期をピークとして流行がみられますが、この時期では、ここ数年間で報告数が最も多い状態が続いています。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は、いずれの年齢でも起こり得ますが学童期のお子さんに多くみられます。主な症状はおおよそ1週間ほどで改善しますが、リウマチ熱や急性糸球体腎炎などの合併症をおこすことがありますので注意が必要です。

主な症状

- 突然の発熱、のどの痛みや腫れ、嘔吐がみられます。
感染1~4週間後にリウマチ熱、急性糸球体腎炎などの合併症を起こすことがあります。

感染経路

- せきやくしゃみなどに含まれる細菌によって感染します(飛沫感染)。
排出された細菌が手などを介し、口に入ることによって感染します(接触感染)。

予防方法

- 手洗い、うがいなどの一般的な予防対策が有効です。咽頭痛がある場合は早めに医療機関を受診しましょう。

